



# 創立 30周年 記念講演会



受講料  
**無料**  
定員  
350名(抽選)

2017年5月17日[水] 13:00-15:00(開場12:15)  
国際日本文化研究センター内講堂

## 第1部

日文研と私—回顧と展望

梅原 猛

国際日本文化研究センター顧問

聞き手 磯田 道史

国際日本文化研究センター准教授

## 第2部

日本研究の諸問題

—歴史と歴史学をめぐる省察

ジエームズ・E・ケテラー

シカゴ大学教授





# 創立30周年記念講演会

Commemorative Lectures for the Thirtieth Anniversary of Nichibunken

## 挨拶

**小松 和彦** 国際日本文化研究センター 所長

## 司会

**牛村 圭** 国際日本文化研究センター 教授

## 講演



**梅原 猛**

国際日本文化  
研究センター  
顧問



(聞き手)  
**磯田 道史**

国際日本文化  
研究センター  
准教授

### 「日文研と私一回顧と展望」

日本史家の磯田道史准教授を聞き手に、初代所長の梅原猛顧問が日文研創立の理念、多彩な研究者を集めた経緯や苦心、建物に込められた思想、等々をふり返り、現下の思索の対象である「人類哲学」、人類の「闇」と「光」の問題にも言い及びながら、日文研の将来に思いをめぐらせる。



**ジェームズ・E・ケテラー**

シカゴ大学教授

「日本研究の諸問題  
—歴史と歴史学をめぐる省察—」

欧米での政府主導の体系的日本研究の契機は真珠湾攻撃にある。先行する日本研究はむしろ存在するが、20世紀中葉の戦争のもたらした意義は等閑視できない。創立以来日文研はこの外から見た日本研究の潮流の最前線にあり、日本を中心に据えた研究と日本主義あるいは日本人論研究の中心地の役割を担い、30年にわたり世界の研究者を招いて扱いの難しい諸問題に取り組んできた。本講演ではこの過去に触れ、日本史・日本研究の歴史と歴史学の諸相を検討し、日文研に有り得るいくつかの将来にも思いを馳せてみたい。

## ACCESS

### 阪急桂駅～日文研間の無料バスサービス

往路(日文研行) 阪急桂駅 東口 バスターミナル南側「Y! Mobile」前より(11:45～12:15の間に4台)  
復路(阪急桂駅行) 日文研講堂前→阪急桂駅東口(講演会終了後4台)

### 通常交通手段 桂坂中央行のバスにて「桂坂小学校前」又は「花の舞公園前」下車

- 阪急桂駅西口～ 京阪京都交通バス20 20B(約20分) ● JR桂川駅～ ヤサカバス6(約20分)
- 市バス西6(約25分) ヤサカバス1(約25分)
- 市バス西5(約30分) ● 阪急洛西口駅～ ヤサカバス6(約15分)
- JR京都駅～ 京阪京都交通バス21 21A(約40分) ヤサカバス1(約20分)
- 京阪京都交通バス26(約45分)

お車でのご来場は、近隣の迷惑となるため、固くお断りしております。但し、車椅子を利用されている等、公共交通機関でのご来場が困難であり、お車でのご来場を希望される場合は、お申し込みの際にその旨をお申し出いただき、必ず事前に許可をお取り願います。



## 申込方法

- 催し物名 ● 代表者氏名(ふりがな) ● 郵便番号・住所 ● 電話/FAX番号
- 同伴者氏名(ふりがな)を明記の上、ハガキ/FAX/E-mailにてお申し込みください。

### 4月20日(木)必着

※1申込につき2名まで受付。(3名以上のお申し込みは、無効とさせていただきます。)  
※抽選結果は、当落を問わず5月1日頃にお知らせ致します。なお、定員に達しない場合は期日以後もお申し込みを受け付けます。

## お申込み・お問合せ

国際日本文化研究センター研究協力課  
〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3-2  
TEL: 075(335)2078 FAX: 075(335)2092  
E-mail: koenkai@nichibun.ac.jp



※お申し込みの為お預かりした個人情報、大学共同利用機関法人人間文化研究機構が主催する催し物のご案内のみに使用します。

## 参加申込書

ふりがな		ふりがな	
代表者氏名		同伴者氏名	
住所	〒 -		
電話番号		E-mail	